

学校関係者評価書

四日市市立富田中学校 学校づくり協力者会議

委員長 棚瀬 護 印

評価項目	評価のまとめ
基盤 教職員の資質・ 能力の向上	【信頼度】 A 自己評価は信頼できる。
	【同意度】 A 改善方針に賛同できる。
重点1 生きる力の向上	・授業研修をビデオ撮影から参観スタイルに変えたのはよいと思う。ICT機器の活用にも積極的。全職員が授業研修で専門家の助言を受けられたことは意義があり今後も継続を望む。 ・休憩時間も次の授業への指導体制が確立している様子が見られた。本校の職員ならば世代交代があろうとも資質能力の向上は大いに期待できる。 ・経験の伝承は大切。多様な生徒・保護者に対応できるように、引き続きOJTに力を入れていって欲しい。 ・学校評価を簡潔化するのには、時間の有効利用となり賛成できる。保護者アンケートについては、より答えやすくする工夫も必要と思われる。
	【信頼度】 A 自己評価は信頼できる。 【同意度】 B 改善方針に概ね賛同できる。 ・より分かりやすい授業をめざしての授業研修を進め、CRT活用を継続して、各学年のさらなる学力向上を目指して欲しい。 ・自尊感情は日本人の謙虚さからくる難しさもあるが、人権学習を通して自他のよい所を認め合い大切にし合える感情を育てていって欲しい。 ・体力テストの結果は残念であるが、駅伝大会の健闘などよい面も出ている。今後も授業や部活動時のランニング等で運動量の底上げを図り、体力向上に努めていって欲しい。 ・朝の読書での生徒の意欲・集中力は成果を上げているが、読書の質の向上が大切。学活での全校的な利用が課題となっているので、実行すべきである。学年通信による本の紹介はよい試み、昔から読み継がれた名作も紹介し興味を持たせてはどうか？
重点2 開かれた学校	【信頼度】 A 自己評価は信頼できる。
	【同意度】 A 改善方針に賛同できる。 ・地域の防災訓練や吹奏楽部の地域行事への参加は、学校経営の基盤となる地域からの信頼につながり成果は大きい。今後は生徒・職員のさらなる意識向上を目指し、地域の防災訓練を学校の防災教育の一環として位置づけられるとよいが(重点3の内容)、学校側の負担増が課題である。 ・授業公開週間や体育祭・文化祭など、休日開催をふくめて参観者を増やす努力が行なわれている。ホームページの積極的な更新や学年・学級通信など、学校の取り組みや生徒の様子を保護者に伝える工夫をさらに続けて欲しい。
重点3 安全・安心な学習環境	【信頼度】 A 自己評価は信頼できる。
	【同意度】 B 改善方針に概ね賛同できる。 ・「危機管理マニュアル」「安全点検表」をもとに全職員の安全意識を高め、暴風警報・津波警報への対処など緊急時に備えて欲しい。 ・東日本大震災の影響を受けて、津波を想定した避難訓練が行なわれたことなどは評価に値する。海岸線に近い本校では臨場感ある具体的設定で訓練をすすめる必要がある。 ・近年、全国的に中高生の自転車事故が増加。本校も登下校時のマナーや安全意識には課題が多く、より実効的な交通安全指導が望まれる。

納得度の評定

A	自己評価は信頼できる。
B	自己評価は概ね信頼できる。根拠となる資料やデータが少し不足する。
C	自己評価は信頼性が低い。根拠となる資料やデータに欠ける。
D	自己評価は信頼できない。外部評価は不可能である。

同意度の評定

A	改善方針に賛同できる。
B	改善方針に概ね賛同できる。
C	改善方針はやや不十分であり、賛同できないところがある。
D	改善方針は不十分であり、賛同できない。